

カだめしミニプリント					
小学校 国語【活用編】①					
		年			
			組		
				番	
				名前	

1 六年生の川本さん、中川さん、そして青木さんの三人が、春の遠足に出かける五年生の代表A・Bの二人に、遠足で行うレクリエーションについて助言をしています。次は、そのときの【助言の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【助言の様子】

※①・②・③の発言の内容は、あとの問いと関係があります。※()の中の言葉は、そのときの様子を説明したものです。

川本 五年生A
はい。(きんちようした様子)わたしは二人は、学年のレクリエーション係をしています。わたしは春の遠足で行うレクリエーションの内容についてやんでいます。場所は、去年と同じ公園で、一時間の活動時間が決められています。わたしは五年生としては、ボールを使ったレクリエーション活動を考えたいです。公園でその活動を行うときに、どのようなことに注意したらよいか、助言をもらいにきました。よろしくお願ひします。

今年も行くんだね。それは、楽しみだね。(笑顔)
わたしは三人もレクリエーション係だったのよ。去年もみんなが納得するように提案するのは大変だったわ。わたしは体験が役に立ってうれしいわ。何でもかまわないので聞いてね。(ほほえむ)
ありがとうございます。(ほっとした様子)

青木 五年生A・B
① いろいろなレクリエーションを楽しめると思うけれど、前もって何が調べていることはあるかな。(笑顔)

はい。先生にお願いをして、去年の活動の様子が分かる写真と、公園の案内図をいただきました。これです。(写真と案内図を見せる)写真を見ると、グループ別にボールを使った運動場やバドミントンなどをしていいることが分かります。また、案内図を見て、公園は学校の運動場の三分の二くらい広いの広さじゃないよ。
② 前もって自分たちで資料を探し、去年のことをもとにしながら、できそうな活動について考えようとしているのね。係として、とても大切なことね。(感心した様子)
そう言ってもらえると安心します。(A・B共にほっとした様子)五年生の一部にサッカーを希望する人がいるのですが、この公園でサッカーはできませんよ。いや、この公園でサッカーの試合は無理だね。川本さんが言ったように、この公園はサッカーの試合ができるような広さではないよ。でも、少ない人数でパス回しくらいならできると思うな。

川本 五年生B
③ 実はね、案内図にはかいていなかったと思うけど、この公園にはいろいろな道具があって、無料で貸し出しをしているんだよ。(明るく)
へえ、そんなものがあるのですか。この案内図だけでは、分かりませんでした。いろいろな道具にはどのようなものがあるのですか。
サッカーボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、長なわなどがあってわよ。それにバスケットコートもあるのよ。
グループに分かれて、その道具を使って活動すればいいね。(五年生Bの顔を見て)そうだね。(五年生Aと顔を見合わせる)六年生のみなさん、活動するグループは、何人ぐらいがいいと思いますか。
そのことについて、二人はどう思うかな。少し二人で相談してごらん。(五年生Aと相談したあと)みんなにアンケートをとって、希望するレクリエーションごとにグループをつくるのがいいかと考えました。どうでしょうか。
グループで活動することはいいかも思いますが、ただ、それにこだわることなく、全員で一つの活動をするのも考えられるね。何より大切なことは、レクリエーションを何のためにするか、確かめておくことだね。

青木 五年生A
はい、分かりました。もう一度考えてみます。六年生の助言をもとに、よりよい活動にしたいと思っています。今日はありがとうございました。
みんながよく話し合って、よりよい活動ができるといいね。

川本さん 中川さん 青木さん
五年生B 五年生A

二 【助言の様子】の中の①・②・③の三人の発言は、それぞれどのようなねらいがあると考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手の考えのよさやくふうしたところを見つけ、そのことを認めようとしている。
- 2 自分の成功や失敗から学んだことを話し、相手が問題を解決できるようにしている。
- 3 相手があつていない情報を示し、選ぶことができることがらを広げようとしている。
- 4 相手がことごとらについて、どれくらい情報を知っているかを確かめようとしている。

<p>答え 青木①</p>	<p>答え 中川②</p>	<p>答え 川本③</p>
-------------------	-------------------	-------------------

三 【助言の様子】の中の青木さんと川本さんは、五年生に対してどのように助言をしていますか。次の【青木さんの助言についての説明】を参考にして、【川本さんの助言についての説明】のAの中に入る内容を、書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十文字以内で書きましよう。

(書き出しの言葉は、字数にふくみます。)

【青木さんの助言についての説明】
青木さんは、五年生の質問に対してすぐに答えを述べるのではなく、五年生にまずは自分自身で考えるように助言をしている。

【川本さんの助言についての説明】
川本さんは、
A

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

川本さんは、	<div style="text-align: right; padding-right: 10px;">◆</div>
--------	--

60字

40字

【助言の様子】の中の——部から、五年生は二人とも安心していいることが分かります。それは、六年生が五年生に対してどのように対応したからだと考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 六年生が、五年生の相談に対して、分からないことをいろいろと質問をしていたから。
- 2 六年生が、五年生の立場を理解し、体験を生かして期待にこたえようとしていたから。
- 3 六年生が、五年生の相談内容を予想し、前もって自分たちの考えを用意していたから。
- 4 六年生が、五年生を敬おうとする気持ちを表すために、敬語を使って話していたから。

答え

1 六年生の川本さん、中川さん、そして青木さんの三人が、春の遠足に出かける五年生の代表A・Bの二人に、遠足で行うレクリエーションについて助言をしています。次は、そのときの【助言の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【助言の様子】 ※①・②・③の発言の内容は、あとの問いと関係があります。 ※()の中の言葉は、そのときの様子を説明したものです。

川本 五年生A こんには。ここにすわっていいよ。(やさしい態度)

青木 五年生A・B ありがとうございます。(ほっとした様子)

中川 五年生B いろいろなレクリエーションを楽しめるところで、前もって何か調べていることはあるかな。(笑顔)

川本 五年生A はい。先生にお願いをして、去年の活動の様子が分かる写真と、公園の案内図をいただきました。これで。(写真と案内図を見せる) 写真を見ると、グループ別にボールを使った活動やバドミントンなどをしていて、何が分かりました。また、案内図を見て、公園は学校の運動場よりもせまいのではないかと思います。実際の広さは、どのくらいでしょうか。

中川 五年生B 前もって自分たちで資料を探し、去年のことをもとにしながら、できそうな活動について考えようとしているのね。係として、とても大切なことね。(感心した様子)

青木 五年生A そう言ってもらえると安心します。(A・B共にほっとした様子) 五年生の一部にサッカーを希望する人がいるのですが、この公園でサッカーはできませんよ。

川本 五年生A いや、この公園でサッカーの試合は無理だな。川本さんが言ったように、この公園はサッカーの試合ができるような広さではないよ。でも、少ない人数でパス回しくらいならできると思うな。

中川 五年生B ③ 実はね、案内図にはかいていなかったと思うけど、この公園にはいろいろの道具があった。例えば、そんなものがあるのだから、分かりませんでした。いろいろの道具にはどのようなものがあるのかわかりました。

川本 五年生A サッカーボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、長なわなどがあったわよ。それにバスケットコートもあるよ。

青木 五年生A グループに分かれて、その道具を使って活動すればいいね。(五年生Bの顔を見て)

川本 五年生A そうだね。(五年生Aと顔を合わせる) 六年生のみなさん、活動するグループは、何人ぐらいがいいと思いますか。

青木 五年生B そのことについて、二人はどう思うかな。少し二人で相談してごらん。

川本 五年生A (五年生Aと相談したあと) みんなにアンケートをとって、希望するレクリエーションごとにグループをつくるのがいいかと考えました。どうでしょうか。

青木 五年生A グループで活動することはいいかも思いますが、ただ、それにこだわることなく、全員で一つの活動をするのも考えられるね。何より大切なことは、レクリエーションを何のためにするか、確かめておくことだね。

川本 五年生A はい、分かりました。もう一度考えてみます。六年生の助言をもとに、よりよい活動にしようと思います。今日はありがとうございました。

青木 五年生A みんなでよく話し合って、よりよい活動ができるといいね。



【助言の様子】の中の 部から、五年生は二人とも安心

していることが分かります。それは、六年生が五年生に対してどのように対応したからだと考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 六年生が、五年生の相談に対して、分からないことをいろいろと質問をしていたから。
- 2 六年生が、五年生の立場を理解し、体験を生かして期待にこたえようとしていたから。
- 3 六年生が、五年生の相談内容を予想し、前もって自分たちの考えを用意していたから。
- 4 六年生が、五年生を敬おうとする気持ちを表すために、敬語を使って話していたから。

答え

2

二 【助言の様子】の中の①・②・③の三人の発言は、それぞれどのようなねらいがあると考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の考えのよさやくふうしたところを見つけ、そのことを認めようとしている。
- 2 自分の成功や失敗から学んだことを話し、相手が問題を解決できるようにしている。
- 3 相手があつていない情報を示し、選ぶことができることがらを広げようとしている。
- 4 相手がことごとについて、どれくらいの情報を知っているかを確かめようとしている。

答え 青木① 4

答え 中川② 1

答え 川本③ 3

三 【助言の様子】の中の青木さんと川本さんは、五年生に対してどのように助言をしていますか。次の【青木さんの助言についての説明】を参考にして、【川本さんの助言についての説明】のAの中に入る内容を、書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十文字以内で書きましょう。

(書き出しの言葉は、字数にふくみます。)

【青木さんの助言についての説明】

青木さんは、五年生の質問に対してすぐに答えを述べるのではなく、五年生にまずは自分自身で考えるように助言をしている。

【川本さんの助言についての説明】

川本さんは、

A

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

例 川本さんは、五年生の考えを受け止め、新たな考えを示すとともに、活動の目的を確かめることの大切さについて助言をしている。

60字

40字